

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和6年12月
海老名市立杉久保小学校**

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、算数)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

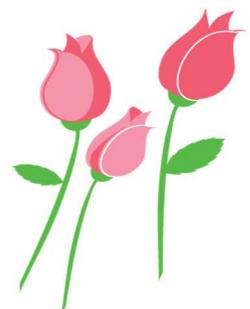
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することが比較的できています。

◆課題のある点

- 「書くこと」を除く全内容、全観点、全問題形式で、全国と比べ正答率が低くなっています。
- 文章や問題の読み取りに時間がかかり、後半になるほど無回答率が高くなっています。
- 自分の考えが伝わるように表現を工夫するためには、相手や目的を意識し、どのような資料を用意すればよいかを考えることに課題が見られます。
- 文の中における主語と述語との関係を捉えることに課題が見られます。
- 物語を読んで文章の叙述と自分の考えを分けて文章にまとめることに課題が見られます。
- 漢字配当表に示されている既習の漢字を正しく使うことに課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 教科に関わらず、自分の考えを文で表現する力を養うため、自分の学びの振り返りなど、考えを伝え合ったり、記述したりする機会を確保します。
- 様々な文章に慣れ親しむことができるよう、読書の時間を確保していきます。
- 自分の伝えたいことが相手に理解されているか確認できるよう、児童同士の対話を積極的に取り入れた授業にしていきます。
- 普段から授業において、文体（主語・述語）の整った文を意識して話したり書いたりできるようにします。
- 自分の考えをまとめるときは、文章の叙述から根拠を明確にして書くように指導の工夫をします。
- 朝のモジュール学習の時間を活用し新出漢字の定着を図っていくとともに、文を書く際にも既習漢字を使うように意識づけをします。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の関係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 数量関係を、□を用いた式に表すことが比較的できています。

◆課題のある点

- 全領域、全観点、全問題形式で、全国と比べ正答率が低くなっています。
- 理由を言葉で説明をする記述式問題において、課題が見られます。
- 除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係についての理解に課題が見られます。
- 速さの意味や道のりと速さの関係についての理解に課題が見られます。
- 折れ線グラフから必要な情報を読み取る力や条件と照らし合わせる力に課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 基礎基本の定着を図るとともに、算数の楽しさを実感できるような授業の工夫により、興味関心を高めていきます。
- 課題に対して、自分の考えを記述したり、発表したりする場を意識的に取り入れ、児童が自らの考えを言語化できる場をつくっていきます。
- 小数や分数のわり算において、具体的な状況がイメージできるように、今後も具体物や数直線などを用いた学習に取り組んでいきます。
- 速さ、時間、道のりの3つの数量関係を絵や図、数直線を用いてイメージを持てるように工夫します。また、割合の3用法が習得できるよう系統的な指導を行っていきます。
- グラフの読み取り方については算数科で基礎基本を定着させるとともに、他教科でも触れ、活用する機会を増やしていきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「授業の中で、タブレットを活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができているか。」という設問に対して、肯定的な回答をした児童が89.8%いました。これは神奈川県や全国の平均を上回る結果となりました。
- 「授業やテストで、間違えたところなどをわかるまで教えてくれていますか。」という設問に対し、肯定的に回答した児童が、92.6%いました。これは、神奈川県、全国平均を上回りました。

◆本校の課題と思われるところ

- 「学校の授業時間以外に、1日あたり、どれくらいの時間勉強をしますか。」という設問に対し、1時間より少ないと回答した児童が40.8%いました。
- 「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」という設問に対し、肯定的な回答が県や全国を下回りました。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「学校に行くのが楽しいと思えますか。」という設問に対し、肯定的に回答した児童が93.5%いました。これは、神奈川県や全国の平均を上回る結果となりました。

◆本校の課題と思われるところ

- 「1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。」「1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンなどでSNSや動画視聴をしますか。」という設問に対し、それぞれ3時間以上と答えた児童の割合は、全国平均を上回りました。
- 「毎日同じくらいの時刻に寝て（起きて）いますか。」という設問に対し、肯定的に回答した児童の割合は県、全国平均を下回りました。

今後の具体的な取組について

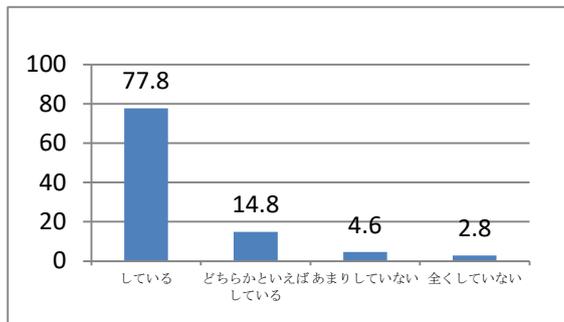
- 友達や周りの人の考えを大切に、協力して課題解決ができるよう、日常生活や道徳の時間を通し、意識を高めていきます。
- スマートフォンの使用方法について、健康面、人権等の面から、警察署との連携を通して、子どもや保護者への啓発を継続します。
- 学校でも生活習慣が体に与える影響について指導し、自身の健康について考える機会をつくっていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1 毎日朝食をとってから登校しましょう。

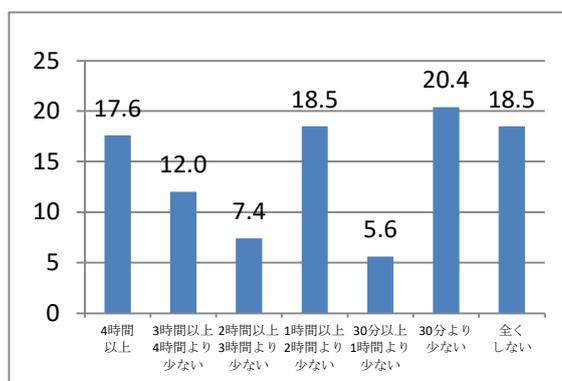
毎日、朝ご飯を食べることで活動や学習のための体の準備ができ、これは生活全体のリズムを保つうえでも大切なことです。これからも、家族みんなで協力しましょう。



朝食を毎日食べていますか

2 スマートフォンやゲームの使用時間を見直しましょう。

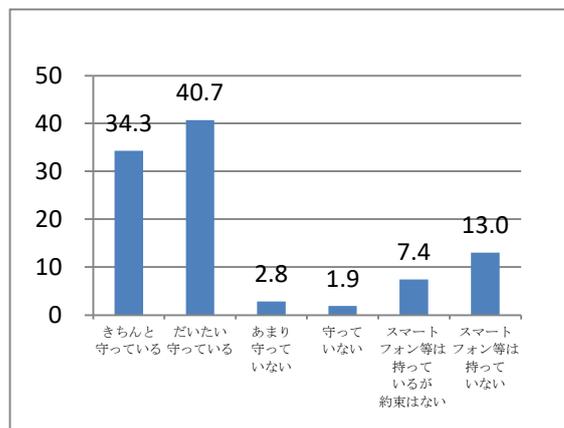
スマートフォンやゲームの時間が長いと、生活リズムや健康面に影響が出てきます。適切な使用時間について考えていきましょう。



普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか

3 スマートフォンやゲームの約束を家族で確認しましょう。

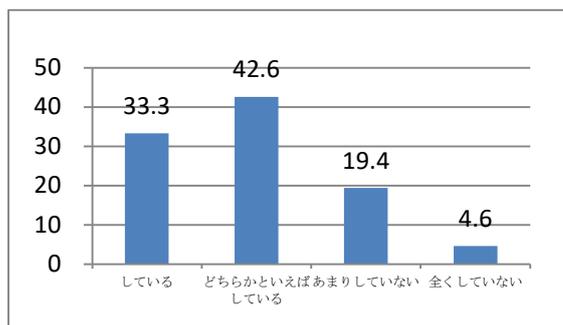
不適切なICT利用が子どもの健やかな成長発達や心身の健康に悪影響をおよぼすおそれがあります。今一度、適切な使用方法について、ご家庭で確認をお願いします。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

4 十分な睡眠時間を確保しましょう。

適切な睡眠時間の確保は、学校での学習意欲につながります。小学生の推奨睡眠時間は9~12時間といわれています。寝床では、デジタル機器を控えるなどして、良質な睡眠を取れるようにしましょう。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

◀①授業改善の実践▶

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- こどもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実に努めます。

【市の結果についての問い合わせ先】
海老名市教育委員会教育支援課 指導係
電話 046-235-4919